

平成29年10月25日

役員会議事録

目的：ここまでの活動で、会則、個人情報取り扱いに関する規約、役員の決定を行った。また、広報活動の為にホームページ、メールアドレス、SNSの下地が完成しつつある。次なる課題は事業の運営である。平成29年度現在、都立科学技術高校（以下学校）は、SSH経過措置となっており、学校がSSH継続する為に、会として出来ることを考えたい。特に、本事業は、SSH継続の為に『特別事業』と位置付ける。

審議事項：

- ・ 質問事項
- ・ 『研究会（仮）』について
- ・ 『短期集中』での講演について
- ・ 『課題研究』での協力について
- ・ 『STリポジトリ（仮）』の設置について

質問事項：

提案：

1. SSHの目的？（SSH報告書に書ける"成果"の定義とは？）
2. SSHの報告書の提出はいつか？（来年度以降、SSH継続の為に、いつまでの活動が必要か？）
3. SSHから外れてしまった場合、再採用は容易か？
4. SSH事業として、同窓会がスポンサー（人材的、金銭的）となって、『研究会（仮）』の運営（下記参照）、『短期集中』での講演（決定済み）、『課題研究』での協力（下記参照）、『STリポジトリ（仮）』の設置、その他研究の為に協力等、可能か？
5. 卒業生アンケートを会側でも収集する用意がある（質問項目、提出先メールアドレスのみあれば、ホームページ、SNS上で公開し、収集することが出来る。）。

結果：承認

『研究会（仮）』について：

提案：発表の機会が少ない高校生、大学生（及び社会人）の為に研究会の開催を提案する。特に本提案はSSH目的に於ける"高大連携"にも適合するものとする。

高校、大学、社会人（高校は都立科学技術高校以外の学生も可とし、大学、社会人は原則会員とする。）問わず、また、分野（物理、化学、生物、数学、工学）問わず、参加可能な研究会の開催。基本はポスター発表とし、更に、プロ研究者の特別招待講演と、大学、社会人の招待講演を

行う。ポスター発表は投票による表彰を行う。開催に掛かる費用は同窓会負担、運営は同窓会と学校側運営委員会（例えばSSH委員会）で行う。場所は要相談（学校設備の利用が可能か、或いは、外部設備の利用が可能か）。詳細詰める必要有り。

結果：（詳細を詰める前提で）承認

『短期集中』での講演について：

提案：短期集中に於いて、卒業生による講演を行う。

結果：承認

『課題研究』での協力について：

提案：課題研究に於いて、金銭的、或いは、人材的支援を行う。

結果：（詳細を詰める前提で）承認

『STリポジトリ（仮）』の設置について：

提案：これまで学校に於ける（部活動、或いは、課題研究等に於ける）研究成果は在校生が卒業したり、或いは、担当教員が転任したりすることで失われたものが数多くあると考えられる。そこで一定の書式に従った研究成果を溜めておくリポジトリの設置が研究成果の伝承において有効であると考えられる。更に、上記研究会や、短期集中に於ける講演者の講演資料等もそこへ溜めておくことが可能となる。書式、投稿方法、基準等、詰める必要有り。

結果：（詳細を詰める前提で）承認